

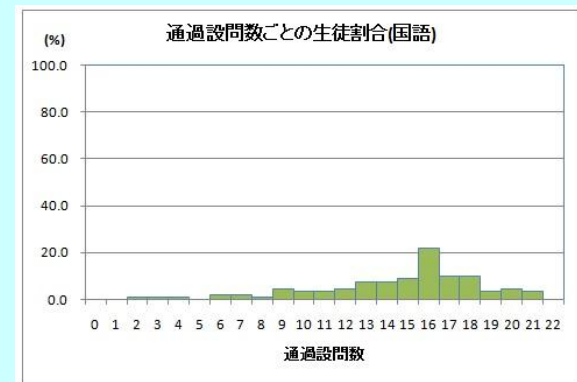
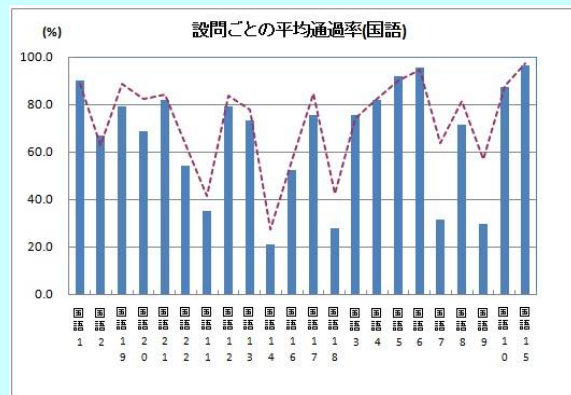
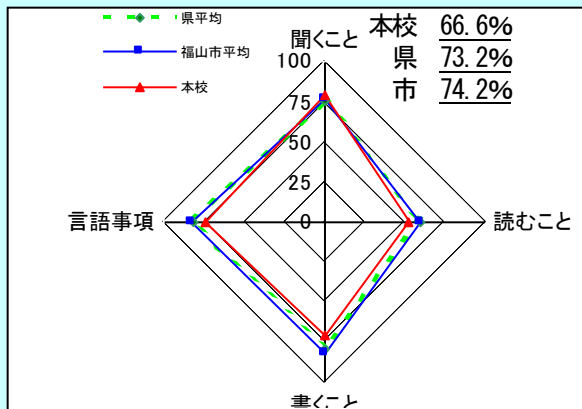
昨年度課題

- ① 文法（主語・述語の関係）の通過率が低い。
本校（20.4%） 県平均（57.2%）
- ② 書く領域には一定の成果が見られるが、まだ通過率は低い。
本校（63.3%） <昨年度：48.0%> 県平均（76.9%）

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ① □ 文章を読んだり書いたりする際に、主語・述語を意識させる。定期的にテストの中に主語・述語の問題を取り入れ、通過率を確認していく。
- ② 書く活動をより取り入れていき、根拠の客観性を考えさせたり、複数の際のナンバリングを意識させたりして使わすようにしていく。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎文章の展開に即して段落のもつ役割をとらえることに課題がある。（本校（27.9%） 県平均（42.5%））
- ◎文法（主語・述語の関係）の理解が不十分である。（本校（31.5%） 県平均（63.8%））
- ◎書体（行書・楷書の区別）の理解が不十分である。（本校（29.7%） 県平均（56.9%））

重点課題に対応した改善指導内容及び方法（授業・家庭学習）

- 【国語科】
- ① □ 説明的文章の教材において段落相互の関係や一つ一つの段落がもつ役割を明確にしながらかみ取る指導を継続する。その際班などで全員発表させるなど各自で考える機会を増やす。また短く分かりやすい例題を用意しくり返し考えさせる。
 - ② 文章を読んだり書いたりする際に、主語・述語を意識させる。定期的にテストの中に主語・述語の問題を取り入れ、通過率を確認することを継続する。
 - ③ 新出漢字を書くときに行書と楷書の両方を書かせることで違いを意識させる。
- 【全校・他教科等】
- 一文一文を文末まで丁寧に読むことを常に意識させる。

取組みの検証

- 時期 各定期テスト
- 目標値 通過率を35%向上
- 方法 福山市調査問題、各テストでの理解度

来年度の目標値

- 文法、行書問題の通過率を35%以上にする。

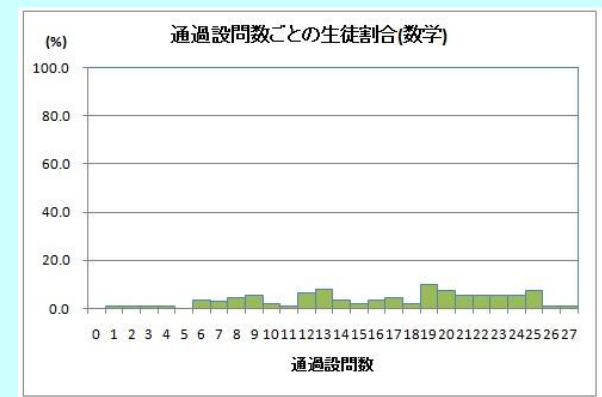
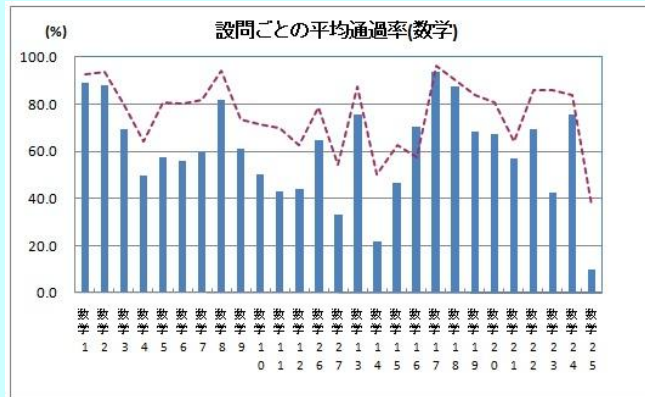
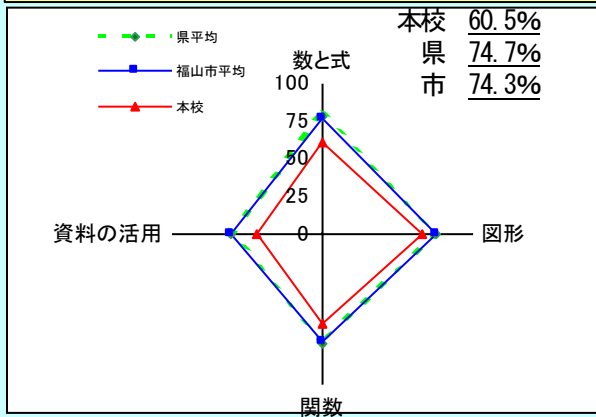
昨年度課題

- ①関係を文字式で表すことができない。 本校 (27.0%) 県平均 (47.0%)
- ②資料の活用 (相対度数の意味) 本校 (35.8%) 県平均 (48.9%)
- ③図形 (円すいの体積) 本校 (39.4%) 県平均 (55.7%)

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①具体的な事例を通して数量関係を考え、日常的な練習問題で確認し、さらに定着確認のための練習問題をする。(章ごと、単元ごと)
- ②説明を聞く、考える、板書する、問題を解くという場面展開をくり返し呼びかけ、継続させる。
- ③パターン化した(単元的)問題練習に加え、総合的な問題(単元横断的な)を精選して解くようにする。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎資料の活用で相対度数の意味を理解し、計算することに課題がある。 本校 (9.9%) 県平均 (36.9%)
- ◎図形分野で、辺と面の垂直な関係をみつけることに課題がある。 本校 (21.6%) 県平均 (50.5%)
- ◎関係を文字式で表すことに課題がある。 本校 (33.3%) 県平均 (54.4%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【数学科】
- ①階級や度数、中央値、平均値などの用語の意味を度数分布表や式などに具体的な数値と関連させて指導し、度数分布表から分かること、考えたことなどを数学的な用語を用いて、説明させ、理解を深めさせる。
 - ②具体物や模型を利用して考えさせ、実際の立体と見取り図を関連させ、実感を伴って理解できるような活動を取り入れる。
 - ③数量関係を具体的な式で表現し、言葉を使った式で表し、文字を用いた式で表すといったスモールステップでの指導を行う。
- 【全校・他教科等】じっくり考えさせる、はっきり表現させることを定着させる。

取組みの検証

- 時期 各定期テスト ○目標値 通過率を30%向上
- 方法 福山市調査問題、各テストでの理解度

来年度の目標値

- 通過率を10%向上させる

授業改善シート [英語]

校番(22) 福山市立誠之中学校

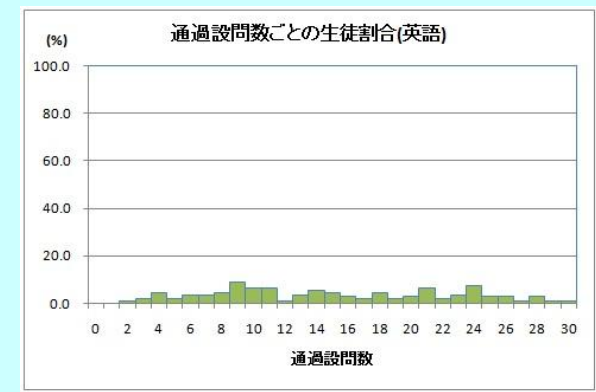
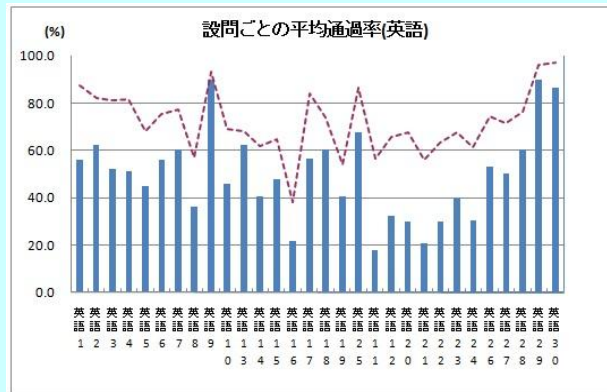
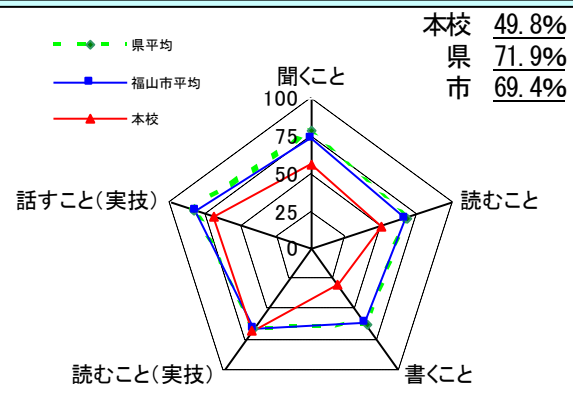
昨年度課題

- ① 基本的な文のきまりを理解して文を書くことができていない。
本校(15.3%) 県平均(55.7%)
- ②適切な語を用いた会話文の組み立てができておらず、読むことができていない。 本校(38.7%) 県平均(70.4%)

昨年度課題を受けて取組んだ具体的事項

- ①英語ドリルの活用により単語や基本文の定着を図った。
- ②授業で要約を掴ませながら英文を聞かせ、読ませていった。
- ③ノート指導・ワークシート等を通して「書くこと」の意義を具体的に指導してきた。
- ④既習事項を重ねながら学習させてきた。

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率



重点課題 ◎「基礎・基本」定着状況調査

- ◎「書くこと」基本的な文の決まりを理解した英作文をつくることに課題がある。
本校 (18.0%) 県平均 (56.3%)
- ◎「書くこと」自分の考えや気持ちなどが読み手に正しく伝わるように書くことに課題がある。
本校 (20.7%) 県平均 (55.8%)
- ◎「読むこと」適切な語を用いた会話文の組み立てに課題がある。
本校 (21.6%) 県平均 (38.3%)

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業・家庭学習)

- 【英語科】
 - ①効果的な板書やワークシート等を活用し、基本的英文の構造の理解を促す。
 - ②条件つきまたは空欄補充式の英作文の練習の充実。そのために口頭導入から表現活動を活発にさせ、その規則性を掴ませていく。
 - ③5W1Hの疑問詞の英文理解と定着を促すために英語ドリルや授業での言語活動を充実させていく。
- 【全校・他教科等】
 - 結論先行で根拠が言えることを意識した学習の継続をする。

取組みの検証

- 時期 各定期テスト ○目標値 通過率を30%向上
- 方法 福山市調査問題、各テストでの理解度

来年度の目標値

- 通過率を10%上げる。